

【資料1】

那珂市自転車活用推進計画に掲げた施策の実績報告及び今後の取組について

1 施策の体系及び推進体制

令和2年9月に策定した「那珂市自転車活用推進計画」では、次のとおり、計画の基本理念である「市民が自転車をたのしみ、サイクリストを迎える“ハートのまち”～自転車で創る“いい那珂暮らしと、あたたかい交流”のまちづくり～」の実現に向け、3つの基本方針及び基本方針に基づく10項目の施策を掲げています。

【基本理念】

市民が自転車をたのしみ、サイクリストを迎える“ハートのまち”
～自転車で創る“いい那珂暮らしと、あたたかい交流”のまちづくり～

〈基本方針1〉 自転車にやさしい空間で楽しく乗ろう

施策① 自転車利用環境の計画的な整備

施策② 通学路における交通安全の確保

施策③ 公共交通機関との連携

〈基本方針2〉 交通ルールを守ってみんなで安全に乗ろう

施策④ 交通安全意識の醸成

施策⑤ 自転車を安全に利用するための啓発

施策⑥ 交通手段としての自転車活用の推進（環境負荷軽減の促進）

施策⑦ 自転車活用による健康増進の啓発

〈基本方針3〉 交流とおもてなしで地域を盛り上げよう

施策⑧ サイクリストに対するおもてなしの充実

施策⑨ サイクルツーリズムによる地域の活性化

施策⑩ 効果的なプロモーション活動の実施

また、施策ごとに進めていく取組として、次のとおり、35の項目を掲げており、各主体が連携しながら取組を進めていくこととしています。

基本方針	施策	主な取組	スケジュール							実施主体
			R2	R3	R4	R5	R6	R7-R11		
自転車にやさしい空間で楽しく乗ろう	①自転車利用環境の計画的な整備	路肩等の幅員を十分に確保した道路整備（矢羽根を表示）	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	県市 民間事業者
		案内看板等の整備	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	
		自転車走行環境の適切な維持管理	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	
		サイクルサポートステーションの確保と整備	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	
	②通学路における交通安全の確保	関係機関との連携による定期的な安全点検の実施	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	市
		危険箇所の改修・改善	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	
		通学路安全マップの作成	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	
	③公共交通機関との連携	シェアサイクルの導入検討	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	市 民間事業者
		駐輪環境の整備・充実	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	
		放置自転車の撤去及び活用検討	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	
交通ルールを守ってみんなが安全に乗ろう	④交通安全意識の醸成	世代ごとの特性に応じた交通安全教室等の開催	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	市 市民 民間事業者
		未就学児に対する交通安全教育の実施	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	
		交通ルールの遵守に向けた啓発	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	
		自動車のドライバーに対する「思いやり運転」の周知啓発	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	
	⑤自転車を安全に利用するための啓発	自転車点検整備講習の開催	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	県市
		自転車損害賠償保険の加入促進	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	
		ヘルメット購入補助の検討	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	
	⑥交通手段としての自転車活用の推進	自転車通勤及び通学の促進	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	市 市民 民間事業者
		市役所における自転車通勤制度の導入検討	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	
		市民自転車デー（ウィーク）の検討	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	
⑦自転車活用による健康増進の啓発	健康づくりサイクリングイベントの開催	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	市 民間事業者	
	電動アシスト自転車等の普及啓発	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶		
	健康効果や楽しみ方等の情報発信	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶		

基本方針	施策	主な取組	スケジュール							実施主体
			R2	R3	R4	R5	R6	R7 -R11		
交流とおもてなしで地域を盛り上げよう	⑧サイクリストに対するおもてなしの充実	自転車活用拠点の確保等	—————▶							県 市 民間事業者
		案内サインの設置	●●▶	—————▶						
		サポートライダーの確保・育成	—————▶							
		サイクリストにやさしい協力店舗等の確保	●●▶	—————▶						
		市内飲食店と連携したグルメ開発	●●●●●▶	—————▶						
	⑨サイクルツーリズムによる地域の活性化	地域資源を活かした周遊サイクリングルートの構築	●●▶	—————▶						県 市 他市町村 市民 民間事業者
		市民と連携したサイクリングイベントの開催	●●▶	—————▶						
		広域サイクリングルートとの連携	—————▶							
		ポタリングの推進	●●▶	—————▶						
	⑩効果的なプロモーション活動の実施	ウェブやSNS、雑誌等様々な媒体を活用した情報発信	—————▶							市 市民 民間事業者
		サイクリングマップの作成	—————▶							
		民間事業者や各種メディア等との連携	—————▶							

【施策推進期間の表記について】

- 施策推進のための検討期間 ●●●●●▶
- 施策を実施する期間 —————▶

2 各施策の実施状況及び今後の予定について

令和5年3月時点における各施策の実施状況及び今後予定している取組の内容については、次のとおりです。

<基本方針1> ～自転車にやさしい空間で楽しく乗ろう～

施策名	施策① 自転車利用環境の計画的な整備
主な取組内容	<ul style="list-style-type: none">・路肩等の幅員を十分に確保した道路整備（矢羽根を表示）・案内看板等の整備・自転車走行環境の適切な維持管理・サイクルサポートステーションの確保と整備
実施主体	県、市、民間事業者

○令和4年度報告

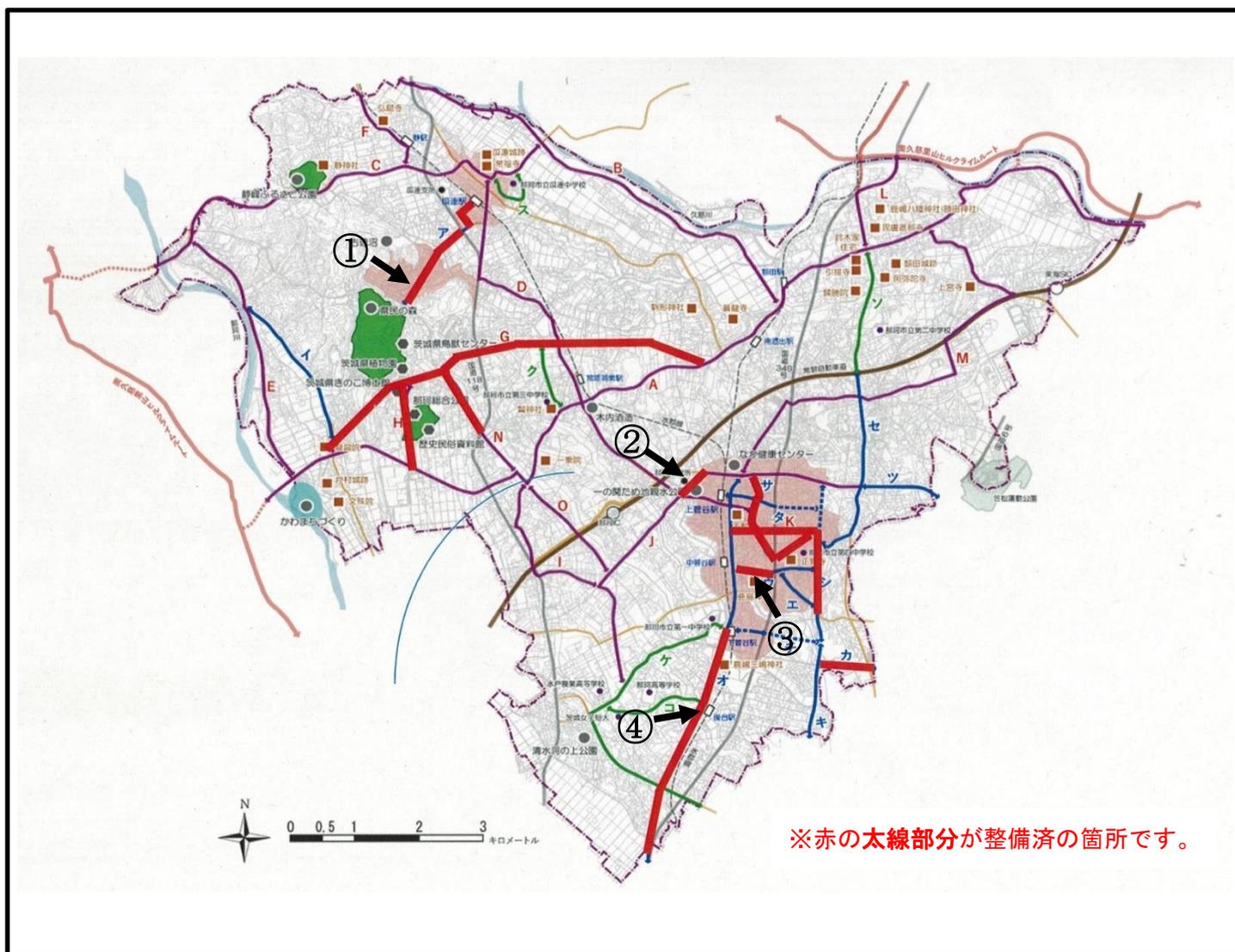
■道路整備

- ・「那珂市自転車ネットワーク計画」へ位置付けた路線のうち、市が管理する11路線の一部区間について、車道混在による整備（路面に矢羽根等を表示）を実施しました。

整備路線延長

年度	整備延長
令和3年度	12.2km
令和4年度	13.8km
合計	26.0km

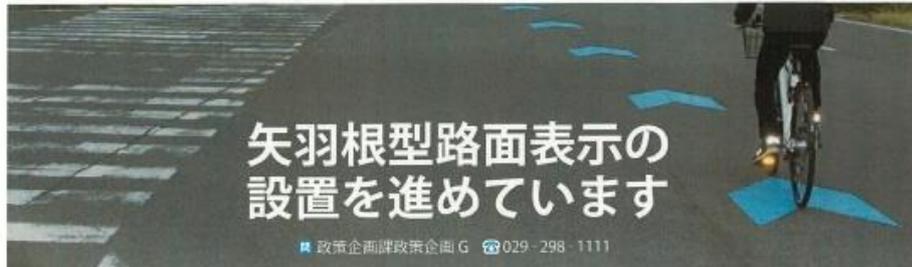
R4 年度までの施工箇所



- ・①から④の箇所の施工後写真を、【資料1 別紙1】に掲載しております。
- ・図中のカタカナ、アルファベットはネットワーク路線の位置づけを示したものです。
【資料1 別紙2】をご参照ください。

■道路整備に関する周知

- ・自転車の通行位置及び矢羽根の趣旨を市民へ周知するため、広報なかに矢羽根の記事を掲載しました。(令和4年12月26日号)



市では、自転車を快適に利用できる環境を創出するとともに、安心・安全に自転車を利用できるよう計画的な自転車利用環境の整備を推進する一環として、道路への矢羽根型路面表示の設置を進めています。

矢羽根型路面表示とは？



左のような色と形をした表示で、自転車の通行すべき位置および方向を示しています。



●矢羽根型路面表示の目的

- ①自転車の利用者に、車道の左側通行を促す。
- ②自動車のドライバーに、自転車の通行位置を知らせる。

●自動車のドライバーの皆さんへ

自動車も矢羽根型路面表示の上を通行できますが、自転車を追い越すときは十分に距離をとり、左折時の巻き込みに注意するなど、自転車の利用者に配慮した運転をお願いします。

●自転車を利用の皆さんへ

矢羽根型路面表示は自転車優先の表示ではありません。自転車を利用の際は、歩行者・自動車に十分注意するとともに、次の**自転車安全利用五則**の順守をお願いします。

自転車安全利用五則

- 1 車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先

※自転車の利用者が歩道を通行できる場合

- 歩道に「普通自転車歩道通行可」の表示があるとき
- 13歳未満のお子さんや70歳以上の高齢のかた、身体に障がいがあるかたが運転しているとき
- 安全な通行を確保するためにやむを得ないとき

- 2 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- 3 夜間はライトを点灯
- 4 飲酒運転は禁止
- 5 ヘルメットを着用



■サイクルサポートステーションの確保

- ・市内の民間施設 4 箇所及び公共施設 1 箇所の計 5 箇所を新たにサイクルサポートステーションとして登録又は登録予定です。継続して設置を進めます。

登録施設一覧（令和 5 年 3 月 1 0 日現在）

	設置年度	分類	施設名
1	R 2	公共施設	静峰ふるさと公園
2	R 2	公共施設	清水洞の上公園
3	R 2	公共施設	芳野農産物直売所
4	R 2	公共施設	なかL u c k y F M公園
5	R 2	民間施設	ファミリーマート那珂瓜連店
6	R 2	民間施設	ファミリーマート額田南郷店
7	R 2	民間施設	ファミリーマート五差路店
8	R 2	民間施設	セブンイレブン那珂市役所前店
9	R 3	民間施設	セブンイレブン那珂中央店
1 0	R 3	民間施設	蕎麦 五楽亭
1 1	R 3	民間施設	GP 食堂
1 2	R 3	公共施設	市立図書館
1 3	R 3	民間施設	味噌乃マルショウ 那珂後台店
1 4	R 3	民間施設	美喰館
1 5	R 3	公共施設	曲がり屋
1 6	R 3	公共施設	しどりの里
1 7	R 3	民間施設	セブンイレブン那珂酒出店
1 8	R 3	公共施設	茨城県植物園
1 9	R 3	民間施設	そば然
2 0	R 3	民間施設	割烹おかざき
2 0	R 4	民間施設	阿弥陀寺
2 1	R 4	民間施設	ミヤモッシモ
2 2	R 4	民間施設	毘盧遮那時
2 3	R 4	民間施設	ファミリーラーメンふるさと
2 4	R 4	公共施設	那珂西リバーサイドパーク



↑ 阿弥陀寺に設置したサイクルラック

○今後の予定

■道路整備（自転車の通行環境整備）

- ・令和5年度に、「那珂市自転車ネットワーク計画」へ位置付けた路線のうち、計2路線の一部区間（延長約1.3km）について車道混在による整備（路面に矢羽根等を表示）を実施予定です。

■サイクルサポートステーションの確保

- ・引き続き、市内の民間施設等にサイクルサポートステーションとして登録の依頼を行うとともに、利活用の検討を進めていきます。

<基本方針1> ~自転車にやさしい空間で楽しく乗ろう~

施策名	施策② 通学路における交通安全の確保
主な取組内容	・関係機関との連携による定期的な安全点検の実施 ・危険箇所の改修・改善 ・通学路安全マップの作成
実施主体	市

○令和4年度

■関係機関との連携による安全点検の実施

- ・市内の小中学生の通学路について、「通学路交通安全プログラム」に基づき26箇所の安全点検を実施しました。

■交通安全施設整備事業の実施

- ・点検結果に基づき、交差点部への停止看板の設置や停止線の表示等を実施しました。

○今後の予定

■関係機関との連携による安全点検の実施

- ・市内の小中学生の通学路について、継続して「通学路交通安全プログラム」に基づく安全点検を実施します。

■交通安全施設整備事業の実施

- ・市内の路線について、継続して停止線の表示等の安全対策を実施予定です。

<基本方針1> ~自転車にやさしい空間で楽しく乗ろう~

施策名	施策③ 公共交通機関との連携
主な取組内容	・シェアサイクルの導入検討 ・駐輪環境の整備・充実 ・放置自転車の撤去及び活用検討
実施主体	市

○令和4年度報告

■JR水郡線においてサイクルトレインの本運用開始

- ・令和3年5月から令和4年3月まで実証実験が実施されていた「水郡線サイクルトレイン」について、令和4年4月から本運用が開始されました。

JR水郡線の上菅谷駅（那珂市）・常陸大宮駅・常陸大子駅、磐城石川駅（福島県）・常陸太田駅で乗降可能です。（土・日曜日、祝日のみ。事前予約制。※行楽シーズン等混雑が予想される場合は対象外となる場合があります。）



（参照：JR東日本ホームページ）

■サイクルトレインの利用促進

- ・サイクルトレインの利用者には、駐車場の貸出しを行い、利用促進を図っています。（事前の連絡が必要です。）

■市内JR水郡線駅における屋根付きの駐輪場の整備

- ・市内JR水郡線下菅谷駅において、屋根付き駐輪場の整備を行いました。

JR水郡線駅屋根付き駐輪場一覧（令和5年3月15日現在）

駅名	台数
後台駅	310台（屋根付き分240台）
下菅谷駅	60台
上菅谷駅	246台
瓜連駅	120台
静駅	102台
額田駅	30台
常陸鴻巣駅	50台

■放置自転車の撤去

- ・市内JR水郡線駅前駐輪場8箇所において、計99台の放置自転車を撤去しました。

○今後の予定

- シェアサイクルの導入について引き続き検討を行います。
- サイクルトレイン利用者駐車場について、周知を行います。
- 引き続き放置自転車の撤去を行います。

<基本方針2> 交通ルールを守ってみんなで安全に乗ろう

施策名	施策④ 交通安全意識の醸成
主な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・世代ごとの特性に応じた交通安全教室等の開催 ・未就学児に対する交通安全教育の実施 ・交通ルールの遵守に向けた啓発 ・自動車のドライバーに対する「思いやり運転」の周知啓発
実施主体	市、市民、民間事業者

○令和4年度報告

■未就学児を対象とした自転車教室の開催（令和3年度）

- ・市内の未就学児を対象とした「デンマーク式自転車教室」を開催しました。

<イベント概要>

イベント名	デンマーク式自転車教室
開催日	令和4年3月19日（土）
開催場所	那珂総合公園（現なか LuckyFM 公園）野球場前
内容	ランニングバイクを使って楽しみながら自転車の乗り方を学べる教室 午前・午後2回に分け実施
対象者	4歳児（年中）クラス～5歳児（年長）クラス
参加人数	21人
参加料	無料



■未就学児に対する交通安全教室の実施

- ・市内保育園で横断歩道の渡り方等を題材とした交通安全教室を行いました。

■交通安全教育の実施

- ・市内の小学校9校、中学校5校で、那珂警察署等の協力のもと「自転車に関する交通ルール」や「自転車の点検のしかた」等を含む交通安全教室を開催しました。



■自動車のドライバーに対する「思いやり運転」の周知啓発

- ・令和4年4月、7月及び12月に実施した「交通事故防止県民運動キャンペーン」において、那珂市内の国道349号を通行する自動車のドライバーに対し、「自転車に対する思いやり運転」を周知啓発するリーフレットを配布しました。



○今後の予定

- アクティブシニアに向けた自転車教室の開催（シミュレーターの活用を検討します。）
- 引き続き、自転車及び自動車利用者へ交通ルールの順守や「思いやり運転」について周知を行います。

〈基本方針2〉 交通ルールを守ってみんなで安全に乗ろう

施策名	施策⑤ 自転車を利用するための啓発
主な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車点検整備講習の開催 ・ 自転車損害賠償保険の加入促進 ・ ヘルメット購入補助の検討
実施主体	県、市

○令和4年度報告

■自転車安全利用五則の周知

- ・ 市のホームページ及び広報なかにおいて、自転車安全利用五則の周知を行いました。



■小中学生のヘルメット購入補助の実施

- ・ 市内の小学校9校に通う児童（令和4年4月進学の新入生及び転入生（新1年生のみ対象））に対し、市がヘルメット購入費の半額程度の補助を実施しました。
- また、市内の中学校5校（令和4年4月進学の新入生及び転入生（全学年対象））に対し、市がヘルメット購入費の全額補助（無償提供）を実施しました。

○今後の予定

■保険会社と連携した自転車損害賠償保険の加入促進

- ・ 市が包括連携協力に関する協定を締結している保険会社と連携し、市民の自転車損害賠償保険への加入促進に向けた啓発を行います。

■小中学生のヘルメット購入補助の実施

- ・ 継続して、市内小中学生へのヘルメット購入補助を実施します。

<基本方針2> 交通ルールを守ってみんなで安全に乗ろう

施策名	施策⑥ 交通手段としての自転車活用の推進（環境負荷軽減の促進）
主な取組内容	・自転車通勤及び通学の促進 ・市役所における自転車通勤制度の導入検討 ・市民自転車デー（ウィーク）の検討
実施主体	市、市民、民間事業者

○令和4年度報告

■ノーマイカーウィークの実施

- ・県央地域9市町（水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、東海村）で実施する「ノーマイカーウィーク（※）」について、期間中は市職員を対象にノーマイカーウィークの趣旨を周知し、期間中の通勤及び休日における公共交通機関、自転車等の利用を推奨しました。

※県央地域の9市町村が、公共交通の利用促進及び地球温暖化防止キャンペーンとして、年2回マイカーの利用を1週間控えて、公共交通や自転車で通勤することを呼びかける事業

実施概要

対象者：水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、東海村の職員

実施期間：①令和4年6月1日から6月7日まで

②令和4年12月20日から12月26日まで

本市の取組対象者（職員数）：①587人 ②536人

取組結果：那珂市職員の取組結果は下表のとおりです。

①

ア 普段、「自動車（マイカー及び相乗り）」で通勤している職員の期間中の通勤手段

	① 自動車で通勤した		② 公共交通 で通勤した	③ 自転車で 通勤した	④ 徒歩で 通勤した	⑤ 送迎して もらった	計
	ひとりで	相乗りで					
6月1日	418人	8人	5人	24人	5人	----	460人
6月2日	440人	8人	4人	22人	5人	----	479人
6月3日	438人	8人	3人	4人	8人	----	461人
6月4日	68人	----	----	3人	----	----	71人
6月5日	54人	----	----	1人	----	----	55人
6月6日	453人	6人	----	2人	6人	----	467人
6月7日	447人	6人	2人	8人	7人	----	470人
計	2,318人	36人	14人	64人	31人	----	2,463人

②

ア 普段、「自動車（マイカー及び相乗り）」で通勤している職員の期間中の通勤手段

	① 自動車で通勤した		② 鉄道 で通勤した	③ 路線バス で通勤した	④ 自転車で 通勤した	⑤ 徒歩で 通勤した	⑥ 送迎して もらった	計
	ひとりで	相乗りで						
12月20日	419人	4人	----	----	12人	6人	----	441人
12月21日	401人	8人	2人	----	7人	4人	2人	424人
12月22日	411人	5人	1人	----	3人	5人	2人	427人
12月23日	406人	6人	1人	----	7人	5人	----	425人
12月24日	55人	----	----	----	4人	----	----	59人
12月25日	38人	----	----	----	5人	----	1人	44人
12月26日	384人	7人	2人	----	9人	5人	----	407人
計	2,114人	30人	6人	----	47人	25人	5人	2,227人

■那珂市役所でのノーマイカーウィークの実施

- ・那珂市役所において、職員を対象に5月、7月及び8月にノーマイカーウィークを実施しました。

実施月	マイカー通勤者数 (人) a	ノーマイカー 実施実人数		ノーマイカー通勤 月別合計(km) b	エコ ドライブ (人)
		鉄道・バス・ 自転車・徒歩	相乗り		
5月	354	72	33	5,782	244
7月	342	53	18	5,651	260
8月	356	49	18	4,657	273
平均	351	58	23	5,363	259
合計	令和4年度の実施合計km ⇒			16,090	

※自転車通勤（3か月合計）延べ人数 137人

○今後の予定

- 市内事業者への自転車通勤の啓発（市HP及び広報なか）
- ノーマイカーウィークの実施
- 庁内におけるノーマイカーウィーク時の自転車利用啓発

<基本方針2> 交通ルールを守ってみんなで安全に乗ろう

施策名	施策⑦ 自転車活用による健康増進の啓発
主な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりサイクリングイベントの開催 ・電動アシスト自転車等の普及啓発 ・健康効果や楽しみ方等の情報発信
実施主体	市、民間事業者

○令和4年度報告

■サイクルイベントでの健康測定会の実施

・令和4年9月4日に開催した「いばチャリ in 那珂」において、スポーツ振興及び健康の維持・増進に関する事項等について包括連携協定を締結している、明治安田生命保険相互会社に、健康測定会を行っていただき、健康への意識の向上を図りました。

○今後の予定

■ノーマイカーウィークにおける自転車利用の推奨

■「元気アップ! りいばらき (※)」の周知 (利用の促進)

※県民の健康活動への取組の普及啓発を目的として、茨城県が開発したデジタルコンテンツ。アプリを通して取り組んだウォーキング、ランニング、サイクリングや健診受診等の健康づくりのための活動を行った方に、取組に応じた数のポイントを付与する。ポイントはアプリ内で実施される様々な景品の抽選イベントに使用でき、利用者は、自身が貯めたポイントを使うことで、抽選イベントへの参加が可能

■自転車を利用することの健康面でのメリットについて周知を行います。

■市内のおすすめサイクリングスポットの周知を行います。

<基本方針3> ～交流とおもてなしで地域を盛り上げよう～

施策名	施策⑧ サイクリストに対するおもてなしの充実
主な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車活用拠点の確保等 ・案内サインの設置 ・サポートライダーの確保・育成 ・サイクリストにやさしい協力店舗等の確保 ・市内飲食店と連携したグルメ開発
実施主体	県、市、民間事業者

○令和4年度報告

■サイクルサポートステーションの確保（再掲）

- ・市内の民間施設4箇所及び公共施設1箇所の計5箇所を新たにサイクルサポートステーションとして登録又は登録予定です。

○今後の予定

■サイクルサポートステーションの確保

- ・引き続き市内の民間施設及び公共施設等へサイクルサポートステーションの登録依頼を行っていきます。

■案内サインの計画的設置を検討します。

■サポートライダー制度の周知（養成講座情報の発信）を行います。

■サイクルサポートステーション登録店舗の利用者に対する優遇サービスの検討を行います。

<基本方針3> ～交流とおもてなしで地域を盛り上げよう～

施策名	施策⑨ サイクルツーリズムによる地域の活性化
主な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活かした周遊サイクリングルートの構築 ・市民と連携したサイクリングイベントの開催 ・広域サイクリングルートとの連携 ・ポタリングの推進
実施主体	県、市、民間事業者

○令和4年度報告

■サイクリングイベントの実施

- ・市単独で、いい那珂サイクルグルメツアーを開催しました。(令和3年度)

<イベント概要>

イベント名	いい那珂サイクルグルメツアー
開催予定日	令和4年3月19日(土)
開催場所	スタート/ゴール地点「那珂総合公園(現なか LuckyFM 公園) 野球場前」
内容	自転車で市内のエイドステーションを巡り、那珂市のグルメを堪能するもの
コース	比較的平坦な市内のサイクリングコース (約34km)
参加人数	47人
参加料	2,000円 (中学生以下は1,000円)



・株式会社茨城放送との共催で、「いばチャリ in 那珂」を開催しました。

<イベント概要>

イベント名	いばチャリ in 那珂
開催予定日	令和4年9月4日（日）
開催場所	スタート/ゴール地点「なか LuckyFM 公園」
内容	自転車で市内のエイドステーションを巡り、那珂市のグルメを堪能するもの
コース	那珂川、久慈川沿線を中心としたサイクリングコース(約35km)
参加人数	64人
参加料	4,000円
動画URL	https://www.youtube.com/watch?v=Gu0q4D-dqKo



■2022年 ハーフセンチュリーいばらきサイクリング大会の後援

- ・令和4年11月6日（日）に、なかLuckyFM公園を会場に開催されたいばらきサイクリング協会主催の、「2022年 ハーフセンチュリーいばらきサイクリング大会」において、市外も走る80kmのコースや市内周遊コース（約30km）でのサイクリングや、会場に市のPRブースを設置し、参加者に対してサイクリングマップや土産品を配布する等、市の自転車活用推進のPRを実施しました。（大会参加者155人）



■水戸八景グルメライドにおける那珂市のPR

- ・令和5年3月11日（土）に開催された水戸八景グルメライドにおいて、その経由地となっている一関ため池親水公園でのエイドの運営や、ゴールで那珂市サイクリングコースのチラシを配布する等、那珂市のPRを行いました。



○今後の予定

- サイクルサポートステーション登録施設と連携した自転車イベントの開催
- ハーフセンチュリーいばらきサイクリング大会との連携
- 水戸八景グルメライド等各種イベントでのPR活動

＜基本方針3＞ ～交流とおもてなしで地域を盛り上げよう～

施策名	施策⑩ 効果的なプロモーション活動の実施
主な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェブやSNS、雑誌等様々な媒体を活用した情報発信 ・サイクリングマップの作成 ・民間事業者や各種メディア等との連携
実施主体	市、市民、民間事業者

○令和4年度報告

■サイクルサポートステーションに関する情報発信

- ・市のホームページに市内のサイクルサポートステーションに関する情報を掲載しています。

■奥久慈里山ヒルクライムルートホームページでの情報発信

- ・奥久慈里山ヒルクライムルートホームページに、那珂市を含めたサイクルサポートステーションの掲載をしているほか、おすすめ桜スポット（静峰ふるさと公園）やハーフセンチュリーいばらきサイクリング大会の募集情報を発信しました。

■「駅長対抗#いばらきの魅力総選挙」での那珂市サイクルツーリズムと水郡線サイクルトレインPR

- ・令和5年3月25日（土）に、JR品川駅において開催される「駅長対抗#いばらきの魅力総選挙」において、JRと連携し、那珂市におけるサイクルツーリズムの魅力と水郡線サイクルトレインのPRを行います。（令和5年3月20日予定）



（JR東日本より提供）

○今後の予定

- 令和5年度発行の「那珂市民便利帳」へのサイクリングコース情報の掲載
- 奥久慈里山ヒルクライムルートホームページでのイベント情報等の周知
- 民間メディアとの連携